

留学だより Vol. 1

日本を出発しボリビアに到着してから早くも今日で2週間が経ちました。この2週間のことを徒然なるままに時系列で述べていこうと思います。

8月15日の11:00に成田空港を出発し、現地時間で10:30、ワシントン・ダレス空港に到着しました。空港では、当然の事ながら職員の方との会話は全て英語なので、オーストラリアでの経験が役に立ったと思います。14:45にワシントン・ダレス空港を立ち、ラパス行きの飛行機に乗りました。着いたのは現地時間で1:30。日本からボリビアまで、実に28時間を超えるフライトでした。AFSが用意した宿に到着したのは4:00。夜の寒さが厳しかったです。その後7時まで仮眠を取り、現地オリエンテーションに参加しました。オリエンテーションでは、世界各国から集まった留学生と交流を深めながら、AFSの方からボリビアに関する諸注意を受けました。同じボリビアに留学する同年代の生徒たちとの会話を通して大きな刺激を受けました。また、日本のように英語が母国語でない国からの生徒でも流暢に英語を話しているのを見て、英語に対するモチベーションが上がると同時に、日本の英語教育の遅れを実感しました。

翌日17日、ラパスから私がホームステイする都市であるスクレへ向かいました。空港に着いたら、いよいよホストファミリーとの対面です。ボリビア人は日本よりもフレンドリーで人と人との距離が近いというのは聞いていましたが、正直想像以上でした。最初は少し戸惑いましたが、ホストファミリーが優しいおかげで比較的すぐに打ち解けられたと思います。

翌週の月曜日から、早速学校に通い始めました。ホストシスターが友達に紹介してくれて、たった1日で沢山の友達が出来ました。私の未熟なスペイン語のせいで会話が續かないのではないかと不安でしたが、生徒の半数近くが英語を喋れたためにその心配は杞憂に終わりました。友達と話す時は、分かるところはスペイン語で、それ以外は英語でコミュニケーションをとっているという状況です。授業は全てスペイン語で行われるので、分からなかったところは近くのクラスメイトに聞きながら受けています。数学や物理は日本で以前習った範囲をやっているということもあり比較的ついていけていると思います。生物や地理、歴史などその他の文系科目は、板書をしないということもあり授業の時間内ではほとんど理解が追いついていません。クラスメイトのノートを見せてもらい、家で復習をするなどしています。

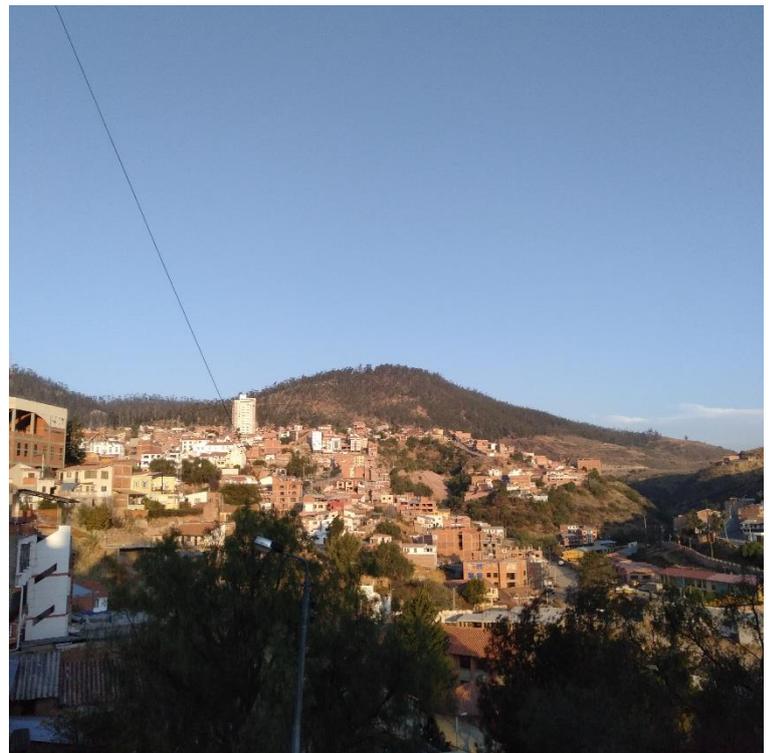
先週の土曜日には、友達に誘われパーティーに行きました。暗い中音楽が大音量でかかり、飲み物を片手に歓談したり踊ったりするというものです。久しぶりにお洒落やメイクが出来て嬉しかったです。パーティーには大人も来ており、副流煙が凄かったです。

月曜日からは、タリハという都市に2泊3日の小旅行に行きました。スクレより標高が低く、最低気温は10度、最高気温は30度といった気候の所です。湿度が低く風が強いせいか、30度でもあまり暑いと感じませんでした。これはボリビア全土に言えることですが、白い壁や赤レンガに赤い屋根を基調とする街並みがとても美しいです。これはボリビアに侵攻してきたスペイン人が、スペイン本国を真似て街を作り移住した時の名残だそうです。写真を載せておきます。

タリハ



スクレ



以上がこれまでの2週間で起こったことです。特に大きなトラブルもなく、無事に過ごせていると思います。この留学を有意義なものに出来るよう、引き続き励んでいきたいです。

宮下